

# アカウミガメ

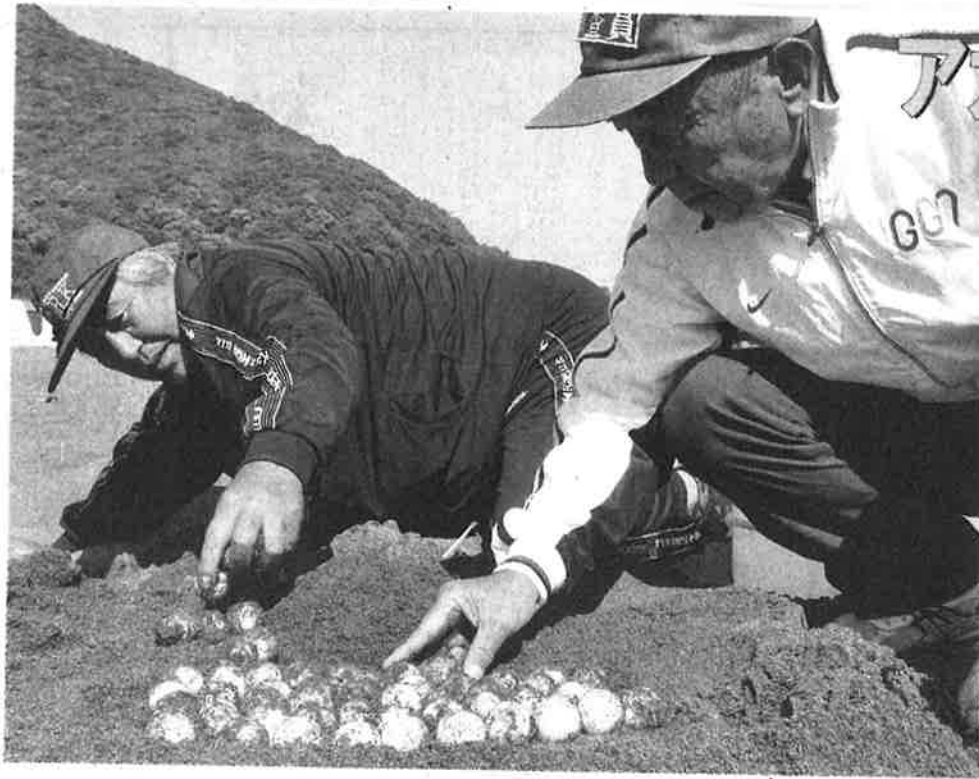
## 5/9

# 9日に初上陸、初産卵

延岡市文化課  
野生動物研究会

# 方財海岸で確認

県の天然記念物に指定されているアカウミガメが9日、延岡市の方財海岸に上陸し産卵したのが今シーズンで初めて確認された。同市文化課によると、昨年よりも10日早い初上陸と初産卵で、県内では最も早いのではないかとしている。



アカウミガメの上陸 方財町によると同日午前9時ごろ、地元の人から「アカウミガメの足跡を見つけた」と連絡を受け、五ヶ瀬川河口付近の現場に急行した。満潮時の波打ち際から10ほど離れた産卵したと思われる場所を軽く掘って卵も確認、市文化課にすぐに報告したという。

初上陸を確認した会員の小林幹夫さん(61)

アカウミガメの卵を掘り出す小林さん(左)と市野生動物研究会長の河野さん(右)午前3時20分ごろ、延岡市方財海岸

た安全な高台に移動させて埋め直した。

河野会長は「卵は通常4センチ程度で少し小ぶりの印象。また、卵の大きさがバラバラではなく、そろっていたのも特徴的」と感想。小林さんは「卵を確認できた時はうれしかった。すっかりふ化して海に帰ってもらいたい」と話していた。

アカウミガメは5、8月に産卵し、9、10月ごろまでふ化が続くとされている。同課は「これから海の利用者が増えてくる。海岸での花火や車の乗り入れなどアカウミガメに影響が出る行為は控えてもらいたい」と協力を呼び掛けている。